

<報道発表資料>

令和8年2月4日に発生した秩父市浦山の林野火災の状況について（第2報）

令和8年2月7日 8時30分現在
※アンダーラインは前回からの変更箇所

【県民の皆さんへ】

現在、県（防災航空隊等）、消防、警察、自衛隊等の防災機関が連携し、消火活動や延焼防止活動に全力を尽くしています。

火災現場付近の県民の皆様におかれましては、御自身や御家族の安全を最優先とし、冷静な行動をお願いします。また、近隣の県民の皆様におかれましては、火災現場への接近を自粛していただくようお願いします。

また、人々の不安や注目が集まる時には誤情報やいたずらに不安を煽るような情報が出現しやすい傾向にあります。県ホームページや県 SNS 等の公式情報を確認いただき、デマや不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動を改めてお願いします。

概 況

1 発生日時等

- （1）発生日時 令和8年2月4日（水）
- （2）覚知日時 令和8年2月4日（水） 15時48分（秩父消防本部）
- （3）鎮圧日時 ー
- （4）鎮火日時 ー

2 出火場所

秩父市浦山地内

3 出火原因

調査中

4 被害状況

- （1）人的被害
軽症1名
- （2）林野被害
約108ha
- （3）建物被害
なし

5 避難指示等の発令状況

なし（自主避難所開設 1か所 ※避難者なし）

6 生活に関する情報

道路(県管理道路)

秩父上名栗線(秩父市)(赤石トンネル付近～浦山大橋間)において通行止め

7 県の対応

令和8年2月4日 17時15分 危機管理防災部に情報連絡室を設置
情報収集体制を開始
2月5日～ 県リエゾン2名を現地に派遣
2月6日 10時30分 自衛隊への災害派遣要請(空中消火支援)
情報連絡室から災害即応室に体制を切替

8 消防機関等の活動概要

(1) 消防機関等の出場状況

2月4日

秩父消防本部	9隊	30名
秩父消防団	10隊	50名
計	19隊	80名

埼玉県防災航空隊	1機
計	1機

2月5日

秩父消防本部	10隊	32名
さいたま市消防局	1隊	4名
熊谷市消防本部	2隊	8名
児玉郡市広域消防本部	1隊	4名
行田市消防本部	1隊	4名
深谷市消防本部	1隊	4名
秩父消防団	3隊	70名
計	19隊	126名

埼玉県防災航空隊	1機
東京消防庁装備部航空隊	1機
横浜市消防局消防航空隊	1機
計	3機

2月6日

秩父消防本部	8隊	26名
さいたま市消防局	1隊	4名
熊谷市消防本部	2隊	7名
児玉郡市広域消防本部	1隊	4名
行田市消防本部	1隊	4名
深谷市消防本部	1隊	3名
埼玉西部消防局	2隊	8名
川越地区消防局	1隊	4名
比企広域消防本部	1隊	4名

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部	1 隊	4 名
西入間広域消防組合消防本部	1 隊	4 名
秩父消防団	1 7 隊	6 4 名
計	3 7 隊	1 3 6 名

埼玉県防災航空隊	1 機
東京消防庁装備部航空隊	1 機
横浜市消防局消防航空隊	1 機
山梨県防災航空隊	1 機
陸上自衛隊	3 機
計	7 機

2月7日

秩父消防本部	6 隊	2 0 名
さいたま市消防局	2 隊	8 名
川口市消防局	2 隊	7 名
上尾市消防本部	1 隊	4 名
埼玉県央広域消防本部	1 隊	4 名
埼玉西部消防局	3 隊	1 2 名
川越地区消防局	2 隊	8 名
比企広域消防本部	1 隊	4 名
埼玉県南西部消防局	2 隊	8 名
坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部	1 隊	4 名
入間東部地区事務組合消防本部	1 隊	4 名
西入間広域消防組合消防本部	1 隊	4 名
熊谷市消防本部	2 隊	7 名
行田市消防本部	1 隊	4 名
児玉郡市広域消防本部	1 隊	4 名
深谷市消防本部	2 隊	4 名
埼玉東部消防組合消防局	3 隊	1 1 名
羽生市消防本部	1 隊	4 名
春日部市消防本部	1 隊	4 名
秩父消防団		1 4 5 名
計	3 4 隊	2 7 0 名

埼玉県防災航空隊	1 機
陸上自衛隊	1 機
計	2 機

(2) 消防機関等の活動概要

2月4日

地上部隊：地元消防（秩父消防）で、延焼防止の消火活動
 空中消火 県防災ヘリ：2回1, 000リットル（散水量）

2月5日

地上部隊：地元消防（秩父消防、消防団）、県内消防応援隊（さいたま市、熊谷市、深谷市等5消防本部）で、延焼防止の消火活動
 空中消火 埼玉県：47回22, 700リットル（散水量）

東京消防庁 : 30回 32,000リットル (散水量)
横浜市消防局 : 19回 9,550リットル (散水量)

2月6日

地上部隊 : 地元消防 (秩父消防、消防団)、県内消防応援隊 (さいたま市、熊谷市、
埼玉西部等10消防本部) で、延焼防止の消火活動

空中消火 埼玉県 : 39回 18,950リットル (散水量)
東京消防庁 : 12回 11,000リットル (散水量)
横浜市消防局 : 11回 4,700リットル (散水量)
山梨県 : 22回 15,840リットル (散水量)
陸上自衛隊 : 26回 62,500リットル (散水量)

2月7日

地上部隊 : 地元消防 (秩父消防、消防団)、県内消防応援隊 (さいたま市、熊谷市、
埼玉西部等18消防本部) で、延焼防止の消火活動

空中消火 埼玉県 : 5回 2,500リットル (散水量)
陸上自衛隊 : 8回 40,000リットル (散水量)

9 派遣要請等

(1) 県下消防相互応援

さいたま市消防局、熊谷市消防本部、児玉郡市広域消防本部、行田市消防本部、
深谷市消防本部、埼玉西部消防局、川越地区消防局、比企広域消防本部、
坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部、西入間広域消防組合消防本部、川口市消防局
上尾市消防本部、埼玉県中央広域消防本部、埼玉県南西部消防局、羽生市消防本部
入間東部地区事務組合消防本部、埼玉東部消防組合消防局、春日部市消防本部

(2) 広域航空消防応援

東京消防庁装備部航空隊、横浜市消防局消防航空隊、山梨県防災航空隊

(3) 自衛隊災害派遣

令和8年2月6日 10時30分 埼玉県知事から自衛隊に対し、災害派遣を要請